

令和5年度「学校評価結果報告書」

学校法人 三宝学園
三宝幼稚園

当園ではこの度、令和5年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この評価の結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

I. 教育目標

当園は、仏教の知性と慈愛のもとに、幼児に良き教育環境を与え、明るく、のびのびと楽しい体験を通じて、社会に生命を生かす、自主的精神に充ちた心身共に、健やかな人間完成をめざし、仏の心として愛育助長したいと念うものです。

1. 元気なつよい子ども
幼児の心身の調和的な発達を図り、健全な心身の基礎を養う
2. きまりを守れる子ども
基本的、生活習慣と正しい社会的態度を育成し、豊かな情操を養い、道徳的芽生えをつちかう
3. のびのびとした創造性豊かな子ども
のびのびとした表現活動を通じて、創造性を豊かにする

II. 今年度の重点目標

- 教職員の資質向上 ●安全管理体制の充実 ●保護者への発信 ●長時間保育の検討

III. 評価項目と取組み状況

評価項目		取組み内容	取組み状況	
1	教職員の資質向上	オンライン研修が増え「実体験」が少ない状況下での学びを創意工夫し、子どもたちへの声かけや保育の流れに取り入れて、日常保育に活かしていく。	B	週に1回打ち合わせを行い、子供たちの状況を先生同士で共有し、声掛けや保育に活かしている。オンライン研修や、様々な情報収集をして、ちょっとした遊びや声掛けの仕方など、引出をふやし、保育に活かしていった。
2	安全管理体制の充実	安全な園生活を提供するため、点検項目の見直しを行い定期点検を引き続き励行していく。	B	保育室や遊具等、子どもを遊びながら危険なところは無いか確認を行っている。今年度は鉄製のベンチを設置していたが、危ないかと判断して処分した。古い机や椅子も順に入れ替えを進めている。バスの降ろし忘れ防止の為、安全装置を設置した。
3		緊急時のマニュアル等を再確認のうえ整備し、地域との連携を図った訓練を試みていく。加えて消防署等の実地訓練や不審者対応訓練も実施していく。	A	月に一回の避難訓練を実施し、火災・地震の両方を想定し、また時間帯も変えて行った。避難だけではなく、避難の際の約束事なども子どもたちにその都度伝えていった。訓練後には、反省を述べ合い、次の訓練に活用できた。

令和5年度「学校評価結果報告書」

学校法人 三宝学園
三宝幼稚園

評価項目		取組み内容	取組み状況	
4	保護者への発信	保護者の共通理解を得ていくため、園の法人やねらい等を分かりやすく伝えることを常に心掛けていく。	A	WEL-KIDSのアプリを通して、園生活の様子を伝えてきた。遊びや活動の写真を撮り、保護者に掲示を行った。参観の際には、狙いなどを書いて掲示し、声掛けがあった際には保護者にわかりやすく説明を行った。
5	長時間保育の検討	人員確保等の職員負担軽減をはかりつつ、保護者ニーズに応え、保護者の安心感につながる、子どもを預けやすい環境を提供していく。	A	フリーの先生が居ることで、担任の先生の急な体調不良への不安が軽減されている。子どもたちに対しては、預かり保育時間でも遊びを楽しめるように時間を決めて遊びを変えたり、展開していった。

【評価の基準】

S	十分達成されている
A	達成されている
B	取組まれているが、成果が十分でない
C	取り組みが不十分である

IV. 今後取り組むべき課題

1	教職員の資質向上	オンラインでの研修だけでなく、実体験での研修に参加し、職員間で共有・実践に繋げていきたい。
2	安全管理体制の充実	保育室の修繕（床の張替、机椅子の入替、棚の表面の修繕や空気清浄機のフィルター交換など）を引き続き行い、点検も密に実施していく。
3		緊急時対応について、地域との連携を機会を作って実施したい。避難場所に指定されている小学校まで実際に行く機会も作れるとより良い。
4	保護者への発信	アプリを使った出欠や延長の申請をしているが、保育開始時刻以降のアプリ連絡では確認できないこともある為、決めた時刻以後の連絡は電話にしてもらう方が良いと思われる。プリントにより、異なることが書かれていることがあったため、統一する必要がある。
5	長時間保育の検討	長期休業日、早朝預かりを増やしたりする等、保護者のニーズにできるだけ対応したい。教職員への負担も考えられるので調整等話し合っていきたい。

V. 学校関係者の評価

教職員の資質向上について

先生方が子どもたちのためにと、たくさんの研修を積み、日々の保育・教育に活かして取り組んでくださることに感謝しています。工作や体操、音楽や英語など子どもたちが意欲的に取り組めるように工夫していただいていることで、子どもたちが自信をもって日々成長している姿を見ることができ、嬉しく思います。

安全管理体制の充実について

定期的に行われている避難訓練は、子どもたちの防災意識を高めるために重要な役割を果たしており、引き続きお願いしたい。消毒や清掃をまめに行ったり、園バスの乗降確認を複数人で実施したりしていただくなど、先生方の負担も増えて大変かと思いますが、子どもたちが安心・安全に過ごせていることに感謝しています。

常に子どもたちから目を離せない幼児教育の現場では、要求される課題も変化・多様化する為、それに伴う体制づくりや難しい問題・支障も発生しますが、一つ一つ丁寧に対応して、前向きに取り組まれていると感じます。今後もこの姿勢を継続し、より良い運営をしてほしいです。

保護者への発信について

アプリが導入されたことにより、園での様子やお知らせをいつでも確認することができ、より安心して園生活を過ごさせてもらう事ができるようになりました。また、災害や警報の際の迅速な対応にも助かっています。

長時間保育の検討について

早朝、延長保育は、働いている保護者にとって大変助かるものになっています。また、長期休暇中の預りも増やしていただきありがとうございます。先生方の負担がさらに大きくなってしまおうと思いますが、今後も続けていただくと有難いです。

すべての項目の元にあるのは、全園児に限なく目の行き届く人力が不可欠です。

子どもたちの近くに居る方々の、些細な事柄で屈託なく話題にできる環境、共有できるコミュニケーション、風通しの良い人間関係が、園全体の資質の向上に繋がるものと思われまます。

以上

**令和5年度 三宝幼稚園
学校関係者評価委員名簿**

立場・役職等	氏名	人数
評議員	細田 賢一	1
後援会 会長	高山 綾子	1
評価委員合計		2 名